

第2号様式（第3関係）

平成26年度第3回豊山町生涯学習推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成27年3月13日（金）午後2時00分から
- 2 開催場所 豊山町役場 3階 会議室3
- 3 出席者 豊山町生涯学習推進審議会委員
（役職及び氏名） 会長：岡田洋司
委員：山本達三、宮沢洋子、岡島千衣子、山田久美子、渡辺博史、
谷口富士子、石黒俊彦、大野容子、大野純子
欠席：一木直久、岡島剛
事務局：西川徹教育長、堀場昇教育部長、秋田和清係長、
安藤彬主事
- 4 議題 (1) 平成27年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について
(2) 平成26年度生涯学習講座受講状況について
(3) その他
- 5 会議資料 ・豊山町生涯学習実施計画（平成27年度） 資料NO.1
・平成26年度生涯学習学級講座受講状況について 資料NO.2
- 6 議事内容
(司 会) 本日は、お忙しい中、定刻前にお集りいただきありがとうございます。
ただ今から第3回生涯学習推進審議会を開催します。
それでは、最初に会長よりあいさつをいただきます。
(会 長) こんにちは。昨日私たちの大学の卒業式でした。何百人という学生が
巣立っていきました。実は巣立つのは学生だけではなくて、我々二人も
愛知学泉大学を巣立つことになりました。山本先生は他の大学に、私は
定年退職ということで、任期の途中ではありますが、今回で役を外れる
ことになります。どうもありがとうございました。
いつから生涯学習審議会にかかわるようになったかといいますと、少
なくとも5年以上は経っています。この間色々なことを勉強したり、考
えたりしたのですが、改めて考えてみますと、生涯学習とは何か、生涯
を通じて学ぶとは何かという一番基本的なことにつき当らざるを得ませ
んでした。生涯学習講座もいろいろありますが、正直な感想といたしま
して、これは学習なのか、と思うようなものも入っていたりしました。

反面、読書会とか勉強会とかの固い物は敬遠されるような状況がここだけではなくて世の中全体に広がっていると感じます。私達が自分で物を考えて、発言することは私たち自身の生き方にもかかわってくることで、大きく言えば豊山町と地域だけではなくて、愛知県や日本だけでなく、全世界を少しでも良くしていく方向にいくのではないかと感じています。ここで、学ぶという事の意味を再確認していくような方向で、これからの豊山町の生涯学習のありかたを考えていただきたいと思います。本日もご審議よろしくお願いいいたします。

(司 会) 次に、西川教育長があいさつを申し上げます。

(教育長) こんにちは。大変お忙しいなか委員の皆様方には出席していただき、ありがとうございます。早いもので今年度ももう終ろうとしています。生涯学習の事業も反省することはたくさんありますが、終ろうとしております。いろいろな審議会に参加しておりますが、この審議会は委員の皆さまから非常に活発なご意見を頂いており、充実して、次回に繋げられる内容だと思っております。来年度に向けての計画になりますので、率直なご意見をいただきたいと思います。

(司 会) 議題に入ります前に、この審議会等の議事録はホームページに掲載することをご承知おきください。

これより議題の審議に入ります。ここからの取り回しは会長にお願いします。

(会 長) 議案(1)「平成27年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について」事務局より説明をお願いします。

平成27年度豊山町生涯学習まちづくり基本計画・実施計画について資料1に基づいて説明。

(会 長) ありがとうございました。質問を受ける前に、推進施策についてできたもの、できなかったものについて教えてください。

(事務局) 資料2を併せてご覧ください。基本目標1の2p青年期についてはダンス教室が定員を少し上回る程度の人数でした。これは新規事業であり、申込数が表している様に、少年期でこういった講座に参加していただくのが難しいというのがあります。ただ、来年はもっと参加者が増えると期待しているので、27年度も実施しようと考えております。

家庭教育の関係ですが、7p(1)②の子育てや家庭教育に関する相談体制と学習機会の充実につきましては、家庭教育相談の開催を検討しましたが、開催まで至りませんでした。27年度は日程を決めた上で開催し、相談者の有無にかかわらず、相談ができる体制を整えようと計画しております。

10pの施策1の①、②につきましても、ボランティアの募集を行っていますが、遅々として進んでおりません。こちらについては継続して募集を行います。

12pの自主的な学習講座の開設、13pのボランティアにつきましても進んでおりません。

(会長) 事務局からの感想でした。いろいろ入っていきまして、どこも大事だと思いますので、後で議論していただきたいと思いますが、今年一年の事業で、ご意見、ご感想はありますか。

(委員) 12pの自主的な学習講座の開設について、成立したサークルはありますか。

(事務局) 今年度はありませんでした。サークル登録はありました。

(委員) 4pのAEDについてなのですが、各部でも受け付け出来ますということでしたが、勉強したいと申し込んだときに、消防署の方にとという話もありました。出前講座で受け付けているのでしょうか。

(事務局) 出前講座でも受け付けられます。また消防署の方でもやっております。

(委員) 設置位置の一覧を周知していただけないですか。以前、置いてある施設から緊急時には貸し出して使ってもよいと伺いました。あわてていても分かるような大きな一覧があるといいと思います。

(事務局) 町との協定でコンビニにも設置していきます。町民やコンビニの店員を対象にAEDの講習会を行っていくと聞いています。総務と協働しながら検討して行こうと考えています。

(会長) AEDの講習会には参加されましたか。

(委員) 一度やりました。勇気を出してやるようにと習いましたが、一回や二回では不安ですね。

(委員) シルバーの方で26日に東部供用施設で講習会があります。修了証ももらえますが、3年に一回は受けないといけません。

(会長) 社教だけの問題ではないですし、厳密に管轄を区切ってやるものでもないと思います。

(会長) 先程事務局の感想を伺いましたが、毎回問題として出ているので、問題かなと思います。

(委員) 資料1に事業完了しているものが掲載されているのは何故ですか。

(事務局) 覚えのためです。

(会長) 紛らわしいので他のところへ移動させた方がいいと思います。

(会長) 全体として何かありますか。

(委員) 12pの自主的な学習講座の開設について、「これ以上行政主体の講座数を広げるには、限界があります。」とあるが、何が問題なのでしょうか。

(事務局) 予算と施設が大きな問題になります。

(委員) 係の仕事量のせいはないのか。

(事務局) それなりのやり方があると思います。

(会長) 計画の何処にポイントを置くか、全てを行うのは難しいので、重点目標を決めて取り組むことが必要です。

(委員) その目標を決めるのは誰ですか。

- (会 長) この審議会で意見を出してもらおう形になります。
- (委 員) 行政の方で悩んでいて、審議会で話し合っただけでいい事はないですか。
- (事務局) 先程話が少し出ましたが、行政だけではいずれ限界があると思います。ボランティアバンク等、活動を進めながら町民と一緒に生涯学習を進めて行きたいと考えています。
- (委 員) 話し合っただけでいい事は事務局には特になさうか。会長が話題に出したことを話し合う感じがいいのか。実際の事務を行っている事務局の意見がある方が、会の充実度もあがると思います。
- (会 長) 現場から見て今の生涯学習が抱えている問題について話していただければと思います。
- (委 員) よろしいですか。現在の時点でボランティアバンクの講師をお願いしたいということや、サークルの先生がいるが、この方はどうでしょうかという紹介などはないのでしょうか。サークルは立ち上がったたりしているのでしょうか。
- (事務局) 講師の“売り込み”はありますが、ボランティアはありません。
- (委 員) ボランティアバンクの人を先生に、サークル化したりすることは、近年ありませんか。
- (事務局) ほとんどありません。
- (委 員) ボランティアの存在が薄れているのかもと思います。
- (委 員) ボランティアバンクへの登録はいつからないのでしょうか。
- (事務局) 調べないと分かりませんが、昨年度はありませんでした。
- (委 員) 今年登録したが。
- (事務局) 反映は次の年度からになります。
- (会 長) ボランティアというのがどういうものなのか、町民の方の理解が深まっています。登録の反映が次年度では遅いと思います。掲示板などで随時更新した方がいいのではないのでしょうか。
- 是非事務局の感じている問題点も教えてほしいです。
- (委 員) 老人クラブのボランティアで見守り隊がありますが、30名しか応募がありませんでした。一斉下校の時には誰かが行くようにしています。決まったベストを着て、これを着ている人は安心だということをアピールしています。私もやりたいという方は、各地区の老人クラブに話をしたいです。
- (委 員) 見守り隊はボランティアバンクに載せるわけではないのですか。
- (委 員) 老人クラブの事業ですので、載せませんね。
- (会 長) ここに載せている以外にもいろいろなボランティア活動があります。生涯学習関係のボランティアには地域活動も入っていて、なんでも有りというような感じはします。そこで町民の方たちが戸惑います。また別なルートでの募集もあります。そこを整理する必要があると思います。
- (委 員) 13pは生涯学習ボランティアの推進ですか。

- (会 長) よく見ると地域活動も入っています。いろいろな団体で地域活動はしているので、情報が錯綜しているのではないかと思います。生涯学習としてどんなボランティアを募集するのか、スタンスを決める必要があると思います。
- (会 長) 昨年までの活動、来年からの活動についてご意見はありますか。
- (委 員) 全部素晴らしい物なので続けられるといいと思います。英会話教室を土日に開いてほしいという話も聞きますが、いろいろ難しいと思います。そういうところこそボランティアを活用できると思います。
- (会 長) 確かに土日に出来れば参加者の需要もあると思います。難しい点もあると思いますが、需要の喚起にはつながると思います。
- (委 員) 大学の地域開放する中でサッカー教室があります。元Jリーガーが講師をやっていて、それを豊田市の広報に載せてほしいという願いをしたことがあります。講師の元Jリーガーの所属は株式会社でした。ナイターやボールの経費等で月5000円くらい集めていました。そのときの豊田市の判断は、株式会社では広報には載せられない、非営利団体にならないか、そこの地域の住民の公共に資するということで、参加費が5000円くらいなら許容範囲ですと言われました。そこでNPOを設立して、指導者も加盟してもらい、広報に掲載してもらいました。ボランティアとそうでないものの線引きをどこで行うかという問題だと思います。もしボランティアバンクの登録の基準が、完全に無料で、お金はとらずに全部やって下さいとなると、登録する人たちにはハードルが高くなります。
- (会 長) 最近是有償ボランティアという考え方もあります。最低限のお金をとる。そういう考え方をしていけないといけないと思います。
- (委 員) ボランティアバンクへの登録の基準が分かりにくいです。
- (会 長) 今までの形での募集は説得力がない。これまでの話をもとに考える必要があります。趣旨自体は間違っていないと思うが、工夫が必要だと思います。大野委員がフラダンスを教える際はご自身でされるのですか。
- (委 員) 一応。今年度ボランティアバンク登録したのは、フラダンスに興味を持たれた方がどんなものか知ってもらうためです。知ってもらうまでで終了させていただこうと思っています。
- (会 長) 前にも申し上げましたが、自分が教えたいという方がいて、その能力を誰が担保するのかという問題もあります。
- (委 員) 問題になったことがあったのですか。
- (会 長) とある市で書道を教えたいというのがありました。その際受講生は講師に高度な物を求めていると軋轢が生じました。
- (委 員) それはどうやって募集したのですか。
- (会 長) 図書館に置いてある掲示板で募集しました。
- (委 員) 素晴らしい募集の力ですね。
- (会 長) そうですね。ただ、今言ったように問題も出てきたので、検討中です。

- (委員) その掲示板を利用した方で良かったという感想はありましたか。
- (会長) ありました。
- (委員) 良い面、悪い面両方あるということですね。
- (会長) 参加者の意識を確認するために、話し合う場が必要だと思います。一緒にサークルを運営して行きましょうという意識でないとボランティアサークルは成立しにくい。ボランティア講師の良し悪しを誰が線引きするか、そういったところは難しい。
- (委員) 事務局からは意見は無いのでしょうか。なければ12p③自主的な学習講座の開設について、支援するシステムを整えますとありますが、どのようにやられるのか事務局にお伺いしたいです。
- (事務局) これについては生きがいタウンにボランティアバンクとサークルを掲載しています。現在の実施状況から、今後の予定としては、情報収集にとどまっております。
- (委員) ボランティアバンクで参加の呼びかけをしている、それだけですね。去年町長との対話に参加しました。その中で他市町村の自主的生涯学習講座の開設をされている例があったので資料を渡しました。生涯学習に渡すと伺いましたが、どのように処理されたのでしょうか。
- (事務局) コピーを取って返却いたしました。資料につきましては広域でやっているものなので、豊山町は単独でやっているという違いはありますが、事業については面白い物があったので、来年度の豊寿大学に取り入れました。市民が市民に教えるということについては検討を始めたところになります。検討した結果については先になると思います。
- (委員) 一つ一つは各市町村が運営しているので、豊山町でも参考になると思います。広域ということで旧西春日井郡の市との取組についても検討して欲しいと思います。
- (会長) 今の問題について2つ問題がありまして、生涯学習ボランティアと自主的な講座活動、これは一緒の問題があります。それを整理して行く必要があります。広域ということについては前から言っているのですが、豊山は町レベルで予算、人口の規模の問題もあります。北名古屋に限らず、岩倉、小牧、春日井といったところの講座を出入り自由にする、あるいは共催するといったことが考えられます。なかなか難しいようではありますが、検討していただきたいと思います。
- (委員) その難しさは何が原因なのでしょうか。
- (会長) 自治体が違うということでしょうか。
- (事務局) それぞれの自治体の規模、それから施設の使用の制限があります。基本的に町民、市民を優先しますので、利用料が違ったりしています。他の市の方を受け入れると施設が使用できなくなったりという問題があります。
- (会長) これからの地域、自治体のおかれた状況を考えると、広域の考え方をとらないと、たぶんどこもできなくなってしまうと思います。それを危惧して

います。役場・市役所で話をすると、どこもそう言われます。これから少子化、財政の問題などもあるなかで、近隣の町村がお互いに融通しあって進めていただかないと立ち行かなくなるのではと思っています。是非とも検討していただきたいと思います。

(委 員) やっているところもありますので、そういった事例を研究して、取り入れるところは取り入れ、無理なところは工夫していただきたいと思います。

(会 長) 時間も押していますので議題2について説明をお願いします。

(事務局) 議案(1)平成26年度生涯学習講座受講状況について
資料2に基づいて説明

(会 長) 今年度の講座の参加者数、一部の講座のアンケートについて説明していただきました。この中でどなたか何か参加されたものはありますか。

(委 員) 巻きずしに参加しました。孫に持って行ったのですが、喜ばれて、大変良かったです。来年度もありますか。また参加したいです。もう一つそば打ち道場ですが、3名というのは何故ですか。

(事務局) 前回は説明させていただきましたが、申込が4名で、1名キャンセルになった結果です。

(委 員) 巻きずしの前は家庭料理でしたか。何故巻きずしに変わったのですか。

(事務局) 家庭料理をお願いするつもりでしたが、講師の体調が悪く、来年は出来ないということでした。そのときちょうど売り込みがありましたので、料理教室がリピーターばかりだったこともあって、切り替えました。

(委 員) 偶然タイミングが良かったから講座になったという図式でしょうか。

(事務局) 家庭料理の講師の件と、売り込みの他にも巻きずしがブームでしたし、講座のリピーター率の多さなどもあって、いくつかの要因が重なった結果になります。定数が増やせるというのもあります。

(会 長) この講座はこちらで枠を作ってその中で講師を探すというものになります。町民の中からこれを教えたいというのは、町民の皆さんの状況を見ながら開講するものになります。

(委 員) 町民の要望もありましたか。

(会 長) これまでの実績を見ながら、英会話関係、パソコン関係といった形に分かれますね。

(事務局) 要望というよりも、アンケートをとると、リピーターの方は当然いい回答を出します。そのため講座参加者だけのアンケートは難しい。他の講座についても書けるようにすると、新しい物が出てくるのではないかと思います。

(委 員) 講座参加者からしかアンケートを取らないのは、裾野が広がらない原因かと思います。来年度に向けた新しい取組はありますか。

(事務局) 基本的には踏襲しております。豊寿大学は3つほど入れ替わっております。文系講座は期間の変更はパソコン講座とオープンキャンパスにな

ります。オープンキャンパスについては昨年名古屋大学と提携を結んだので、学泉大学と別講座として行います。

(会 長) そば打ち道場についてはどうですか。

(事務局) 来年度につきましては草案を作っております。四月発行の生きがいタウンにアンケートをさしこみたいと考えております。前回の審議会でご意見を頂きましたので、参加者や申込者とは別にアンケートを行い、28年度に反映させたいと考えております。アンケートの結果についてのご意見もいただきながら、進めて行きたいと考えております。

(委 員) アンケートの取り方について、生きがいタウンに差し込むということでしたが、それだとどれだけ新しい方の意見を取り入れることができるのか、疑問です。

(事務局) まず生きがいタウンから始めていきたいと思っております。また、広報にも募集の要約版は掲載しております。まずは生きがいタウンを手にとっていただいて、アンケートに回答していただく、広報紙でも周知できると思います。

(委 員) はじめの一步という事でしょうか。

(事務局) そうですね。

(委 員) 配布場所は今年と一緒ですか。

(事務局) 今年度と同じです。全戸配布ではありません。全戸配布については広報で講座の案内を周知します。

(委 員) 第一回の時に講座がマンネリで詰まらないから推進委員に応募しましたという話をいたしました。ここまでの話を聞いていると前年度踏襲の27年度講座だと思えます。

(事務局) そういうわけではありません。アンケートをしながら少しずつ変わっているという話をさせていただきました。また28年度にはアンケートを加味しながら、皆さんと作って行きたいと考えておりますのでよろしくをお願いします。

(委 員) 全戸配布した場合は何部くらいですか。

(事務局) 6000部くらいです。

(委 員) アンケートだけやることはできませんか。

(事務局) 町の考え方として、広報の中に折りこむことを嫌いますので、ご理解ください。以前は生きがいタウンを全戸配布していましたが、町の方針として、それを止めました。経費の節減などもあって、現在の方法になりました。よろしくをお願いします。

(会 長) アンケートの回収率など難しい点がありますが、なるべく広くとっていただけるようお願いします。講座の感想についてもすぐにやらないと印象が薄れてしまうので、質問等も工夫していただきたいと思えます。

(委 員) 年に1回アンケートしようと思った時に、マークシート型ですと1000枚約15,000円で売っています。マークシートをスキャナーで読み込めばそれほど手間もかかりません。回収率は10数%から20%

くらいでかなり低くなると思います。何かインセンティブがないと社会調査は難しいです。ただアンケートをやっているかやっていないかは違いがあるかと思います。私の研究室でも昔は学生が一つずつ読み上げていましたが、今はスキャナーを使う様になったのでずいぶん簡単になりました。機械もそれほど高額ではありませんし、ほぼ間違いもありません。調査会社に依頼すると物凄い金額になりますが、そういった形でやればそれほど金額もかからないと思います。やることで何か新しい切っ掛けになるのではないかと思います。

(会 長) うちの学生にやらせてもよいですね。

(委 員) 生涯学習課を立ち上げる際に無作為でアンケートをやりましたよね。あんまり見えてこなかった印象がありますが。

(委 員) 生きがいタウンの印刷はいくらくらいですか。

(事務局) 20万円くらいです。

(会 長) いろいろ条件はありますが、議題2について承認したいと思います。
異議なし

(会 長) 他になにかありますか。

(事務局) その他について、文化振興事業が2月22日に行われました。チケット350枚は即日完売しました。入場者は332名でした。内容は三遊亭好楽、王楽の親子落語とナイツの漫才でした。

(会 長) 例年この催し物はだいたいすぐ完売になりますので、良いことだと思います。

(委 員) 完売になっても席が空いている事がありますが、今年は本当に満席でした。ナイツさんが見えたので若い人も多かったです。

(会 長) 本日も活発な議論ありがとうございました。今年度の審議会は終了いたしました。お疲れ様でした。

(事務局) 活発なご意見ありがとうございました。

上記のとおり平成26年度第3回豊山町生涯学習推進審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成27年3月30日

会 長 岡 田 洋 司

署名人 谷 口 富士子